

「ちょっとボランティア行ってきまーす！」が当たりまえの社会に

ボランティア ニュース

令和2年度を振り返って...

活動の一部を
ご紹介します！



サロンスタッフによるマスク作り



ふれあいサロンの開催



傾聴ボランティア「れんげ草」による
会議と訪問活動



男性サロンの開催



ボランティアリーダー会議



ボランティア講座「オンライン体験」



歳末 しめ縄作り



歳末 友愛訪問
(しめ縄飾りのお届け)



サロンスタッフによる体操用具作りと訪問活動

コロナ禍で活動の自粛や制限が続く中、対策しながら続けた活動や、形を変えて実施した活動もありました。初めての経験に戸惑うことも多い中、「こんなときだからこそ！」と立ち上がってくださったボランティアさんもおられました。改めてボランティア活動の必要性・可能性について考えさせられた1年であったと思います。



地域を支える！ ボランティアさん 紹介コーナー☆



三野 千恵子 さん



「人と関わるのが好き。コロナ禍で、改めて
人とのつながりの大切さを感じた。」

今回は、ボランティアグループ「ふれあいサロン」代表の三野千恵子さんにお話を伺いました。深く福祉に関わるようになったきっかけは、平成12年にホームヘルパーの資格を取得されたこと。「自分に何かできることがあるのでは、と軽い気持ちで参加しました。」と、三野さん。そこが原点であり、生きがいデイサービスや、ホームヘルパーの経験もされ、今は高齢者の居場所作り「ふれあいサロン」の代表と、傾聴ボランティアグループ「れんげ草」に所属されています。昨年末には、一人暮らし高齢者の友愛訪問にも参加されました。活動への思いを尋ねると、「人と関わるのが好きで、つながりを大切にしています。また来てえよ、と言ってもらえるような関係を築きたい。」と笑顔で答えてくださいました。また、今後の意気込みについて「スタッフがみんなで同じことを共有して、やってみて、楽しいと思うことや活動に役立てられることは地域に還していきたい。」とのこと。ボランティアの魅力について「若い頃から手をつないで輪になるように、年を重ねても同じ気持ちで、人と人がつながることで大きな輪になる。コロナ禍で活動できない期間中、改めてつながりの大切さを感じました。ボランティアの魅力は人とつながることにあります。」と、熱く語ってくださいました。そんな熱い思い溢れる三野さんへのインタビューでした。

ボランティア保険のご案内

令和3年度ボランティア保険の受付が始まりました。ボランティア活動中の怪我や損害賠償を補償する保険です。保険加入は伊根町社協までお問合せください。

ボランティアの強い味方！

【保険期間】

令和3年4月1日～令和4年3月31日

【保険料】

年額 250円～1,100円（プランにより変動します）
※社協登録ボランティアは300円（基本コースAプラン）
を助成します

【補償内容】

死亡保険金：290万円～2,360万円
入院保険金：日額 5,500円～10,000円
賠償責任補償：1事故につき上限5億円



◇ボランティア募集情報◇

朗読ボランティア

何か始めてみたい方！楽しくボランティアしてみませんか？
詳しくは伊根町社協までお問合せください。

活動者募集中！

朗読ボランティアとは…

主に視覚に障害のある方へ『情報を音声にして伝える』ボランティアです。活字で書かれている広報誌、新聞記事などを朗読して録音し、必要とされる方にお届けする活動です。

